

## 2019年6月定例理事会議事録

開催日時：2019年6月14日（金）13時から15時30分

開催場所：パラリンピックサポートセンター内会議室 JAPAN

出席理事：金原昇、阿部海将、大橋卓生、安藤尚徳、小野原裕昭、  
小池隆仁、牧野文彦、高木伸幸、高橋美穂、舘和男、初瀬勇輔

欠席理事：青山英世、岡本依子、金珍秀、桜岡東寛、佐藤公彦、瀬尾健一

出席監事：成松和彦

欠席監事：阿部慎史

冒頭、金原昇会長より挨拶がなされた。

次いで、土屋茂夫事務局長より、理事総数17名のうち理事11名が出席しており、定款第36条第1項に定める定足数を満たしていることから、本理事会が有効に成立した旨宣言された。

議長の選定に移り、定款第33条第2項に基づき、理事の互選で会長・専務理事・常務理事の中から大橋卓生専務理事が議長として選定された。

### I 審議事項

#### 第1号議案 平成30年度決算および事業報告承認

議長より、第1号議案資料に基づき、平成30年度決算報告書及び同年度事業報告書の内容について説明がなされ、平成30年度は1000万円強の黒字となった旨報告がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、それぞれ原案のとおり満場一致で承認された。

#### 第2号議案 次期正会員候補者推薦

議長より、第2号議案資料に基づき、正会員・役員候補者推薦委員会における審議結果が説明され、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、下記の者を推薦することを満場一致で承認された。

#### 記

宮地正樹、吉田寛、小林守、鳥越恒一、高木伸幸、牧野文彦（ただし総会までに必要書類が提出されることを条件とする）、姜炫淳、小泉秀一、蟻川長廣、木村俊輔、福富秀幸、山田敬吾、川端徳久、佐藤公彦、川津博、中谷信彦、桜岡東寛、藤崎裕志、富永高史、瀬尾健一（ただし総会までに必要書類が提出さ

れることを条件とする)、西村紀幸、長野修士

### 第3号議案 次期理事候補者推薦

議長より、第3号議案資料に基づき、正会員・役員候補者推薦委員会における審議結果が説明され、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、下記の者を推薦することを満場一致で承認された。

記

(正会員推薦)

阿部海将、高木伸幸、牧野文彦、金原昇、小泉秀一、佐藤公彦、阪口朗、藤崎裕志、長野修士

(理事会推薦)

青山英世、安藤尚徳、大橋卓生(ただし総会までに誓約書が提出されることを条件とする)、小野原裕昭、岡本依子、初瀬勇輔、小池隆仁、舘和男、高橋美穂、木下まどか

### 第4号議案 次期監事候補者推薦

議長より、第4号議案資料に基づき、正会員・役員候補者推薦委員会における審議結果が説明され、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、下記の者を推薦することを満場一致で承認された。

記

成松和彦

### 第5号議案 定款変更

議長より、第5号議案資料に基づき、主たる事務所の移転に伴い定款を下記のとおり変更する必要がある旨提案がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。

記

変更前	変更後
(事務所) 第2条 当法人は、主たる事務所を東京都渋谷区に置く。	(事務所) 第2条 当法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。

### 第6号議案 群馬県テコンドー協会脱退届けの取下げ

議長及び牧野常務理事(総務委員長)より、群馬県テコンドー協会が2年間か

ら当協会脱退の意向を示しており、今般も事務局にその旨の連絡があったが、その後第6号議案資料の文書にて、脱退届の取下げ及び同協会継続の意思を表明したことから、同協会の脱退手続を進めずに準加盟団体として継続してもらうことの承認を求めたい旨提案がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、満場一致で承認された。なお、未払となっている平成30年度及び今年度の準加盟団体負担金を本年6月30日までに支払うよう同協会に請求することとされた。

## 第7号議案 2019年度収支予算書及び事業計画書

### (1) 2019年度収支予算書（全体）

議長より、2019年度予算が暫定予算のままとなっていることから、本理事会において予算を確定したい旨、予算確定にあたりパラテコンドー委員会よりJPC強化事業予算の修正及び千葉GP組織委員会よりGP予算の修正の申し入れがあることから、これら修正を踏まえて、予算を確定したい旨説明がなされた。

高木伸幸理事（パラテコンドー委員長）より、第7号議案資料に基づいて、JPC強化事業予算の修正が次のとおり説明された。

- JPC強化事業に対する助成金額が9,830,000円で確定した。
- JPCより上記助成金以外に強化事業に関する支援金10,000,000円が交付されることとなった。
- 上記以外に国際コーチライセンス等の取得等のための国庫補助金649,400円が見込まれる。
- 以上に選手の自己負担金939,000円を加えた21,418,400円がJPC強化事業の原資となり、支出もこの範囲で行うこととなる。

小野原裕昭常務理事（GP千葉組織委員長）より、第7号議案資料に基づいて、千葉GP予算の修正が次のとおり説明された。

- JSCくじ助成（収入）は、45,414,000円となる。
- 自己負担金（支出）は、43,387,646円となる。

議長は、以上の修正を踏まえ、全体の収支予算は、第7号議案資料の2019年度収支予算（全体）のとおりの旨説明がなされ、大きなマイナス予算となるため、資金管理をしっかりと行い、債務超過にならないよう借入れや寄付金募集など鋭意対応することを前提として、全体の収支予算を確定したい旨提案がなされ、質疑応答ののち議場に諮ったところ、第7号議案

資料の 2019 年度収支予算（全体）のとおり満場一致で承認された。

## (2) 2019 年度事業計画書

議長より、第 7 号議案資料の事業計画書が提示され、一部の専門委員会が事業計画書を未提出のため審議できない旨、及び定時正会員総会の報告資料となるため速やかにこれを作成して配布する必要がある旨説明がなされ、至急作成し、書面決議で理事会承認を得ることが確認された。

## 第 8 号議案 JPC 追加支援金のうち事務局助成の用途

高木理事（パラテコンドー委員長）より、今般予算計上した JPC 追加支援金 1000 万円（今年度から施行されるもので、東京 2020 パラリンピック大会の強化事業に係る経費に充てることができる）のうち 200 万円は事務局経費として利用できることから、パラテコンドー委員会創設時よりパラテコンドー関係の事務局業務を分担しており、東京 2020 大会に向けて膨大に増えてきた同事務局業務を継続して分担することと、強化事業のコーチ業務にも係わり、幅広くパラテコンドーに貢献している木下まどか氏に対する報酬として支払う旨提案がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。

なお、木下まどか氏は当協会理事に就任する予定であること、当協会から報酬を得るには雇用者である東京大学の承認が必要であることから、当協会の正会員総会の承認及び同大学の承認を得た後に報酬を支払うこととし、支払条件等詳細はパラテコンドー委員会に一任することとされた。

## 第 9 号議案 各種規程改正及び理事会日程

### (1) 会議体に関する規程の改正

議長より、第 9 号議案資料に基づき、下記の各規程について改正案が説明され、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。

記

理事会運営規程、経営会議運営規程、常務会運営規程、専門委員会規程

### (2) 理事会日程決定

議長より、理事会運営規程に基づき、今後の理事会日程が下記のとおり提案され、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。

記

#### 臨時理事会

2019年6月30日（日）定時正会員総会終了後

#### 定例理事会

2019年7月19日（金）午後1時～

2019年10月8日（火）午後1時～

2019年12月10日（火）午後1時～

2020年1月7日（火）午後1時～

2020年3月24日（火）午後1時～

### (3) 役員報酬規程改正

議長より、第9号議案資料に基づき、東京オリンピック・パラリンピックが近くなり事務局業務が増加していること、及び現事務局長がご家庭の事情でやむなく退職することに伴い、理事が事務局業務をある程度サポートする必要が生じたことから、当該サポートを行う理事に報酬支給を可能とするために役員報酬規程の改正が提案され、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。なお、役員報酬規程の改正は正会員総会の承認を要する。

#### 第10号議案 定時正会員総会招集

議長より、第10号議案資料に基づき、定時正会員総会の招集が提案され、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。

#### 第11号議案 事務局体制

議長及び阿部海将専務理事より、前述のとおり現事務局長がご家庭の事情でやむなく退職することとなった旨、東京オリンピック・パラリンピックまで1年足らずであることから、今後の事務局体制としては新事務局長を採用せず、現在の事務局員を理事らがサポートする体制を組むことで対応した旨、及びサポート要員として高橋美穂理事及び株式会社ワンフィフティ代表者の高林俊幸氏に依頼をする旨提案がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。

#### 第12号議案 東京オリンピック選手用医療統括者（AMSV）推薦

議長より、菊地医科学委員長から、当協会医科学委員である一杉正仁医師を東京オリンピックにおける選手用医療統括者（AMSV）として推薦したいとの提案がなされている旨説明がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認された。

## II 報告事項

### 1 アスリート委員会からの要望

高橋美穂理事（アスリート委員長）より、報告資料1に基づき、アスリート委員会でとりまとめた選手の意見書の内容について説明がなされた。同意見書については強化委員会で回答案を作成し、テコンドーに従事する役員等で議論したうえ、本年7月の理事会を経て、当協会の回答とすることが確認された。

### 2 国技院杯テコンドー大会への参加要請及び後援依頼

舘和男理事（競技委員長）より、報告資料2に基づき、国技院杯テコンドー大会に当協会の選手を参加させること、当協会が同大会を後援することの是非を検討している旨報告がなされた。この点について、正会員総会で意見を聴いて対応するのがよいのではないかとの意見があった。

### 3 世界選手権及びローマ GP 結果報告

本年5月にマンチェスターで開催された世界選手権では、残念ながらメダルを獲得できなかった。本年6月にローマで開催されたGPでは、山田美愉選手が銅メダルを獲得した。

### 4 ローマ GP 視察報告

阿部専務理事より、ローマGP視察団を代表して、報告資料4のとおり、ローマGPの視察報告がなされた。

### 5 GP 千葉関係

小野原常務理事より、次の事項が報告された。

- JSC 助成に関して本年7月10日までに申請をすれば、助成金の半額が前払いされるため、JSC 助成全体についてこれを実施する予定である。
- 今年度 JSC 助成で利用する口座は、従来の JSC 口座ではなく、WT 口座とする。
- JSC 助成については、四半期に一度、利用状況について所定の書式で報告が求められるが、4～6月までは7月19日、7～9月までは10月18日が報告書の提出締切となっている。
- 上記報告は GP 助成だけでなく、当協会が受けている他の JSC 助成でも

同様である。具体的には、アカデミー関連は強化委員会、コンプライアンス相談窓口はコンプライアンス委員会、アンチ・ドーピング研修は医学科学委員会の各担当者にも周知が必要である。

## 6 ナショナル・アカデミー関連

小池隆仁常務理事（強化委員長）より、岐阜羽島に開設予定のナショナル・アカデミーに常駐する管理人候補者（人件費は JSC 助成）について報告がなされた。

## 7 東京オリンピック・パラリンピック NFファミリーチケット

議長より、次の事項が報告された。

- 東京オリンピック・パラリンピックの NF が取得できるチケットの追加申し込みが開始されている。追加申し込みはテコンドーだけでなく他競技のチケットも申し込みが可能である（確実に割り当てられる保証はない）。
- 今後の追加チケットの申し込み、及びすでに割り当てられたテコンドー4日8セッション各 A 席 30 枚の販売ポリシーも含めて、マーケティング委員会を担当して進めていく必要がある。

## 8 その他

小池常務理事より、次の事項が報告された。

- 自己都合で合宿の途中で合宿参加を止めた場合に選手から徴収した自己負担金の取り扱い
- 千葉 GP 選考会におけるテストマッチ実施の際のトラブル

《添付資料》

省略

上記原本と相違ありません。

専務理事 大橋卓生